

見本

履歴書

<個人情報の保護について>
本提出書類に記入いただいた個人情報は、採用・入職の必要な手続きにのみ使用します。

(立教大学提出用)

(西暦)

2024年 5月 15日現在

写真は履歴書に挿入せず、別途提出してください。 写 真 (縦4cm×横3cm)	ふりがな りっきょう じろう	性別
	氏 名 立教 次郎	男
	英 字 Jiro RIKKYO	国籍
	1982年 4月 1日生 (満 42 歳)	日本
ふりがな とうきょうと としまく にしいけぶくろ 現住所 〒 (171 - 8501) 東京都豊島区西池袋 3-34-1	電話 (自宅) 03 - 3985 - 4938 電話 (携帯) 080 - 1234 - 5678 E-mail jiro.rikkyo@rikkyo.ac.jp	

年	月	日	学 歴 ・ 免 許
			学歴
2000	3	31	立教池袋高等学校 卒業
2000	4	1	立教大学 ●●学部 ●●学科 入学
2004	3	31	立教大学 ●●学部 ●●学科 卒業
2004	4	1	立教大学大学院 ●●学研究科 博士前期課程 入学
2006	3	31	立教大学大学院 ●●学研究科 博士前期課程 修了
2006	4	1	立教大学大学院 ●●学研究科 博士後期課程 入学
2009	3	31	立教大学大学院 ●●学研究科 博士後期課程 修了
			免許
2004	3	31	中学校教諭専修免許 (●●語)
2004	3	31	高等学校教諭専修免許 (●●語)

年	月	日	学 位
2006	3	31	修士 (●●学) 立教大学
2009	3	31	博士 (●●学) 立教大学

コメントの追加 [NT1]: すべての項目は古い順に西暦(4桁)で記載してください。
電話番号以外のすべての項目は、入力言語問わず「MS明朝 10.5 サイズ」で統一してください。

コメントの追加 [NT2]: 1. 学内で使用予定の氏名を記載してください。
※戸籍上氏名の記載は不要です。学内で使用予定の氏名(旧姓・通称等)と戸籍上氏名が異なる場合は、入職時に別途「旧姓等使用届」の提出が必要となります。
2. 人事システムの登録に使用しますので英字表記を「英字」欄にご記入ください。

コメントの追加 [NT3]: 学歴は高等学校卒業から記載してください。なお、大学院博士課程に在学した場合は、①修了、②単位取得退学、③中途退学の種別と年月日を記載してください。
現在、大学院博士課程に在学中の場合には、「入学(在学中)」または入学(休学中)」と記載してください。
国名・都市名等の記載は不要です。

コメントの追加 [NT4]: 該当するものがなければ記入は不要です。

コメントの追加 [NT5]: 修士以上の取得学位名を、大学名、専攻分野を含めて正確に記載してください。
日付は学位記発行日を記載してください。

※別紙の「履歴書記載見本」に従ってご記入ください。

(氏名 立教 次郎)

年	月	日	職 歴	海外での 教育研究歴
2009	4	1	●●高等学校 常勤講師 (2011年3月31日まで) ●●語初級	
2011	4	1	●●大学●●学部 常勤講師 (2014年3月31日まで) 日本語初級	○
2014	4	1	●●大学●●センター 非常勤講師 (2019年3月31日まで) ●●語初級、●●語中級	
2019	4	1	立教大学●●センター 常勤講師 (現在に至る) ●●語初級、●●語中級	
2021	4	1	●●大学●●学部 非常勤講師 (現在に至る) ●●語中級	

コメントの追加 [NT6]: 1. 専任 (常勤) として勤務する / した大学・研究所等については、所属する / した研究機関・職種を正式名称で記載してください。
【例】 ●●大学 ●●学部 常勤講師
2. 非常勤講師の勤務に関しては、専任 (常勤) 職に就いていない期間の分に限定しても差し支えありません。なお、その勤務期間も明示してください。また、立教大学での兼任講師 (非常勤講師) 履歴は必ず記載してください。
3. 教歴については、主な担当科目名のみを記載し、コマ数や授業時間等は記載しないでください。
4. 当該職歴のうち海外における教育・研究活動の期間がある場合は、必ずその期間および活動内容について記載するとともに、「海外での教育研究歴」欄に「○」印をつけてください。
5. 国名・都市名等の記載は不要です。

年	月	日	賞 罰
●	●	●	●●大学●●学部●●記念賞
2019	4	1	科学研究費 基盤研究 (C) 19KXXXX 研究代表者「●●●●●●●●」 (2023年3月31日まで)
			(ない場合は「なし」と記載)

コメントの追加 [NT7]: 公的機関・学会・出版社等からの表彰、獲得した公的研究費、職務上の懲戒処分、研究費の不正受給に係る処分等について記載してください。
教員としての資格は「学歴・免許」欄に記載し、自身の検定試験等については記載しないでください。

年	月	日	学会ならびに社会における活動
●	●	●	日本語学会 (LSJ) 会員 (●年●月●日まで)
●	●	●	日本外国語教育推進機構 (JACTFL) 会員 (現在に至る)
●	●	●	全国●●学会 (●●) ●●研究部会 委員長 (現在に至る)
			(ない場合は「なし」と記載)

コメントの追加 [NT8]: 省略等はせず、正式名称および役割 («会員» 等) を必ず記載してください。

※別紙の「履歴書記載見本」に従ってご記入ください。

(氏名 立教 次郎)

業績目録				
著者および著書名 (共著の場合は共著者および担当部分を明記)		発行年月		出版社名、掲載ページ、 科研費などの資金の有無 (有の場合は名称)
1 ☆立教次郎『タイトル』		年 2020	月 3	●●出版。
2 立教次郎「タイトル」		2021	3	山田太郎ほか編『タイトル』 (pp. 90-120) ●●出版。
著者および学術論文題名 (共著の場合は共著者および担当部分を明記)		査読の有無	発行年月	掲載誌名、掲載ページ、 科研費などの資金の有無 (有の場合は名称)
1 ◎立教次郎『タイトル』		有	年 2009 月 3	立教大学大学院●●研究科博士論文。RIKKYO Roots, 立教大学学術リポジトリ。 http://rikkyo.repo.nii.ac.jp/records/00000
2 立教次郎「タイトル」		有	2019 3	『●●大学紀要』35, ●●-●●。
3 ☆立教次郎、スミス・ジョン「タイトル」 (担当：データ収集およびデータ分析)		無	2019 12	『●●ジャーナル』50, 10-20。
4 ☆Rikkyo, J., & Yamada, H. Title. (担当：30-35)		無	2020 12	『●●ジャーナル』1, 30-45。
5 Rikkyo, J. Title.		無	発行 予定	AAA Journal, 2(1), 10-20.
著者および公刊されたテキスト (共著の場合は共著者および担当部分を明記)		発行年月	出版社名	
立教次郎、スミス・ジェーン、山田太郎『タイトル』 (担当：「第1章」および「第2章」 pp.1-25)		年 2020	月 12	●●出版。
その他（学会発表、研究報告書印刷、翻訳書など）		発表または 発行年月	学会名、出版社名、 科研費などの資金の有無 (有の場合は名称)	
【学会発表】1「●●●●●●」		年 2022	月 2	第●●回●●●●●学会 於：●●大学（東京）
【学会発表】2「●●●●●●」		2022	8	第●●回●●●●●学会 於：●●大学（オンライン）
【翻訳書】1 ●●●●●著『●●●●●』		2022	3	●●●●●出版。
【研究報告書】1「●●●●●に関する調査」		2020	1	●●年度『●●●●●研究』報告書。

コメントの追加 [9]: 1. 発行年月の古いものから順に、著書（定期刊行物以外で表紙に本人の氏名が記載されている刊行物）、学術論文、公刊されたテキスト、その他（学会発表、翻訳書、研究報告書など）を分けて記載し、共著等の場合は、共著者名と本人が執筆したページ番号を必ず明記してください。それができない場合には、本人の果たした役割を必ず明示してください。
2. 項目ごとに業績に番号を振り、学位論文には「◎」、応募書類として提出している業績には「☆」を番号の右に付けてください。
3. 著書、教材の場合は出版社名を明記し、発行所・掲載誌（巻・号数）等に関しては、省略せず正確に記載してください。
4. 「出版・発行予定」とは、既に校正原稿が出来上がり、出版予定年月日やページ数が確定しているものを指します。
5. 両面で5枚以内に収まるよう調整してください。

コメントの追加 [F10]: 問題集や参考書等はここに記載してください。

※別紙の「履歴書記載見本」に従ってご記入ください。